

科目名称	社会福祉調査
授業コード	BL311
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	山田 健司
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>社会調査という方法が、数ある世界観形成の一手法にすぎないことを理解すること、また社会調査手法の固有性についても同時に考察していく。</p> <p>つぎに、量的調査について、方法論、研究と演繹的仮説、アンケート調査方法と実施方法、基本統計学による解析と分析、結果理解の範囲について概説する。</p> <p>さらに、質的調査について、方法論、帰納的仮説、枚挙的調査方法と実施方法、主観的帰納法分析方法、結果理解の範囲について概説する。</p> <p>部分的に演習を交える。</p> <p>介護保険事業の需要動向分析、回帰予測、および予算編成などの市場と行政サービス統計分析に関する調査分析、さらに保険サービス展開と現場における趨勢分析などから、行政サービスの分析部門での実務経験を活かして講義する</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<p>介護保険事業の需要動向分析、回帰予測、および予算編成などの市場と行政サービス統計分析に関する（厚生省モデル事業解析等）、さらに保険サービス展開と現場における趨勢分析などから、行政サービスの分析部門での実務経験を活かして講義する。</p>
到達目標	<p>社会調査の限界と可能性について現代社会の中で理解できる。</p> <p>調査データを透視的に捉えることができるようになる。</p> <p>人間社会におけるあらゆるカオスに対する調査の有効性を提案できる。</p> <p>上記目標によりでディプロマポリシーの基づく教育を実施する。</p>
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会調査の意義と目的と限界－社会調査の実態と矮小性 2. 社会調査の種類と特性－エビデンス信仰の虚実・データの嘘 3. 社会調査における哲学的理解と倫理 4. 量的調査 研究調査の源流：目的・課題の明確化、真偽仮説から演繹仮説へ 5. 量的調査 仮説の実体化：調査票の作成と分析までの接合 6. 量的調査 調査対象の理解と設定：標本・抽出・幻想としての集団 7. 量的調査 調査の実施にまつわるもろもろ 8. 量的調査 解析1：調査票の掃除、基本統計 9. 量的調査 解析2：相関 10. 量的調査 解析3：回帰 11. 量的調査 解析4：多変量 12. 質的調査 方法論：目的と帰納法的な期待機能 13. 質的調査 実施方法と特徴と実際 14. 質的調査 結果への導き方と理解の方法 15. まとめ
授業の進め方	教科書を中心に国家試験出題内容に準じながら講義する。

能動的な学びの実施	該当しない
授業時間外の学修	予習：原則、各回授業タイトルに関する事項についての情報を主体的意識的に得ていること（約60分）。 復習：各回授業内容について、反芻思考し、ノートにまとめること（約90分）。 国家試験対策として、調査論各領域別の基礎知識の復習および過去問題の解答と解説についても順次指示する。
教科書・参考書	「社会調査の基礎」弘文堂
成績評価方法と基準	授業で提示する10の課題で評価する。10課題各10点 100点 フィードバック方法：レポートは全体講評する。課題は個別評価する。アンケートは分析公開解説する。
課題等に対するフィードバック	国家試験対策として、調査論各領域別の基礎知識の復習および過去問題の解答を求めこれに対する解説をフィードバックする。
オフィスアワー	CampasSquareを参照
留意事項	社会福祉士受験資格必修科目です。社会福祉士国家試験科目です。 その他、社会調査に関心がある方の受講を勧めます。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	毎回課題を出題、提出課題内容を評価します。 小テストを実施します。